

# インマヌエル中目黒キリスト教会

## 2013年3月10日 聖日礼拝

---

**使徒の働き 連講 (2)**

**「キリストの証人となる」**

使徒の働き1章 4－8節

**竿代 照夫 師**



# 聖書朗読

## 新約聖書

### 使徒の働き 1章 4-8節

聖書本文は新改訳聖書第三版  
(©新日本聖書刊行会) を使用しています。

- 4 彼らといっしょにいるとき、イエスは彼らにこう命じられた。「エルサレムを離れないで、わたしから聞いた父の約束を待ちなさい。
- 5 ヨハネは水でバプテスマを授けたが、もう間もなく、あなたがたは聖霊のバプテスマを受けるからです。」
- 6 そこで、彼らは、いっしょに集まったとき、イエスにこう尋ねた。「主よ。今こそ、イスラエルのために国を再興してくださるのですか。」

- 7 イエスは言われた。「いつとか、どんなときとかいうことは、あなたがたは知らなくてもよいのです。それは、父がご自分の権威をもってお定めになっています。
- 8 しかし、聖霊があなたがたの上に臨まれるとき、あなたがたは力を受けます。そして、エルサレム、ユダヤとサマリヤの全土、および地の果てにまで、わたしの証人となります。」

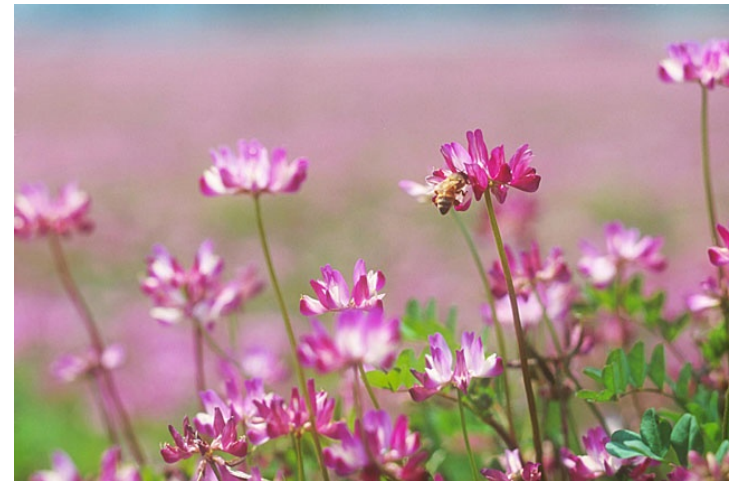
# 説教

## 使徒の働き 連講 (2)

### 「キリストの証人となる」

使徒の働き1章4－8節

竿代 照夫 師



主テキスト:

「しかし、聖霊があなたがたの上に臨まれるとき、あなたがたは力を受けます。そして、エルサレム、ユダヤとサマリヤの全土、および地の果てにまで、わたしの証人となります。」

(使徒1:8)

はじめに

聖霊の賦与の約束(4-5節) < 復習 >

- エルサレムに留まる
- 父の約束を待つ
- 聖霊のバプテスマを受ける

## A. 証人とは何をやる人か？

1. 一般的には
  - ・ありのままの事実を語る
  - ・個人的な経験として語る
  - ・語る内容に命を賭ける

### 2. キリストの証人となる

- ・キリスト復活の事実を証言する  
(1:22、2:32)
- ・復活が救いの根拠であることを証言する  
(3:15)



### 3. 今日的には？

- 復活の主が内住の主であることを証しする
- 内住の主による性格の変化を証しする

(2コリント2:15、3:3)

## B. 何処で証言するのか？

### 1. エルサレムにおいて

- 旧約聖書の預言の成就  
(ミカ4:2、ルカ24:47)
- 同族の間での証し  
: 迫害、殉教を乗り越えて  
エルサレム教会が確立
- (今日的には) 家族に対する証し

## 2. ユダヤとサマリヤの全土において

- 迫害による離散が契機(8:1、4)
- 信徒による証が中心
  - : ユダヤ、ガリラヤ、サマリヤ  
全土で教会が確立(9:31)
- (今日的には)私たちの社会における証し

### 3. 地の果てまで

- 異邦人が「そのまま」救われたことが契機  
(11:20-21)
- 「異邦人教会」が宣教の拠点に  
(13:1-2、ローマ15:16-20、28)
- (今日的には)未伝の地域と人々への証し

## C. 証しのかは？

### 1. 聖霊のかえるきよめ(15:9)

- 政治的野心からのきよめ
- 臆病からのきよめ
- 競争心からのきよめ(ルカ22:24)

### 2. 聖霊のかえる自由と力

(2:4、マタイ10:20、ローマ15:19)

## 終わりに

- 私たちも「証人であること」を自覚しよう
- 証しのかと内容が与えられるように祈ろう